

なんこく 市議会だより

No. 83

平成29年(2017年) 11月号

主 な 内 容

《9月定例会市議会(第397回)》… P2

**一般会計補正予算
6億2,722万円の増額計上**

《新市長初登壇》…………… P3

《9月議会一般質問》……… P4～12

《議会運営委員会
視察レポート》…………… P12

《9月議会トピックス》…………… P13

《なんこく歳時季 巻4》……… P16

・なんこくファミリー
サポートセンター

◆ 表紙写真 ◆

9月1日に日章小学校で震災訓練が行われました。児童・自主防災組織・消防団など342名が訓練に参加。避難訓練を初め、放水訓練や各種防災体験のほか、上空に向けて救助を求めるため、人文字でSOSを合図する訓練が行われました。



発行／南国市議会
E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会
南国市大堀甲2301 TEL 088-880-6570 FAX 088-864-3281



一般会計補正予算6億2,722万円の増額計上

第397回

給食センターの建設完了

南国市学校給食センター設置条例が可決

9月定例市議会

第397回定例市議会は、9月8日から22日までの15日間の会期で開かれました。
市長提案の議案23件、報告4件と陳情1件、議員発議の意見書5件が審議され、全議案を可決、陳情を不採択、意見書5件を可決しました。

9月定例議会初日、市長より、九州北部豪雨や台風5号の自然災害、北朝鮮問題の平和解決などに触れた後、本市における「南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策の着実な実施、ほ場整備、土地区画整理、工業団地整備などの将来を見据えた投資の実施などについて報告がありました。その後、主要政策の報告に続き、今議会へ提出された議案の提案理由が説明されました。

12日から15日までの4日間は、15名の議員から一般質問として、市長の政治姿勢、環境行政、防災、福祉など市長への質問や提案が行われました。

19日は提出議案への質疑と人事案件1件の採決が行われ、人事案件は全会一致で同意となり、残余議案は所管の常任委員会へ付託されました。

20日に各常任委員会で付託議案等を審査し、22日の閉会日には、各常任委員長から審査結果の報告が行われ、質疑、討論後の採決で、決算以外の議案が原案のとおり可決となり、決算議案は継続審査となりました。



同日には、「市長の付属機関としての新たな第三者委員会の設置等について」の陳情1件を賛成少数で不採択としたほか、議員から5件の意見書が提出され、「『協同労働の協同組合法(仮称)』の速やかな制定に関する意見書」「食品衛生管理の国際標準化を求める意見書」「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に規定する特例の継続等を求める意見書」の3件が全会一致、また、「森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書」「小中学校におけるプログラミング必修化に對して支援を求める意見書」の2件が賛成多数で可決され、閉会しました。

◆主な可決議案◆

(議決結果は15ページ)

議案第11号

一般会計補正予算
補正予算規模は6億2722万2千円の増額計上。主な歳出は次の通りです。

▽総務費関係：電子自治体推進事業費・国土調査事業費

▽民生費関係：障害者自立支援給付事業費・放課後児童施設整備事業費(後免野田小学校)

▽農林水産業費関係：市単独土地改良事業費

▽消防費関係：住宅耐震対策促進事業費・災害用備蓄品購入費
▽教育費関係：公民館管理費

議案第19号

学校給食センター設置条例

学校給食センターの設置及び管理に関し、必要な事項を定めるた

め条例を制定するものです。

議案第20号

南国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

特定教育・保育施設が、支給認定証の交付を受けていない支給認定保護者から、特定教育・保育の提供を求められた場合に受給資格

等を確認するときは、通知により行うこととする規定を新たに加えるものです。

議案第21号

南国市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例

農地利用の最適化の推進に関する業務が、新たに農業委員会の必須業務に位置付けられたことに伴い、積極的

な活動を推進する必要があることから、本条例の一部を改正し、農業委員会の委員等の報酬に、活動及び成果に応じた報酬を新たに加えるものです。

市長として初の定例議会

—平山新市長9月議会で所信表明—



橋詰前市長の辞職に伴う南国市長選では、平山前副市長以外に立候補者がおらず、無投票で当選が決定。8月6日に就任した平山市長は、9月議会で市長として初登壇し、開会日の施政方針の冒頭で所信を述べたほか、12日からの一般質問でも複数の議員から所信を問われ、今後の市政への取り組みについて答弁しました。

(13ページに関連記事)

執行部に問う

一般質問

9月議会では、市長の所信・防災・環境・福祉など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約してご紹介します。

◇9月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

氏名青 (総括方式)、緑 (一問一答方式)

1 土居篤男 ①市勢減少をどう盛り返すか ②高齢者施策の充実を ③既存宅地固定資産税について ④中学生自死再調査を ⑤銃剣道について

2 前田学浩 ①高知広域連携中枢都市圏について ②文化ホールとまちづくり 他、の市民要望には応えているか? ファシリティ・マネジメント (公共施設マネジメント基本計画) はいつするののか?

3 高木正平 ①新市長の所感 ②津波対策 (石碑に残された記録・手押しポンプ井戸の整備について・耐震性貯水槽の給水訓練での体得・避難所の呼び方) ③南国市のおみやげ ④全国レクリエーション大会の開催

4 西川潔 ①土地の評価と現況課税 ②広域化される国保の今後の加入者負担 (県域で統一しない保険料、市外所有資産を保険料に反映を) ③現在取り組んでいる市街化調整区域の開発許可制度について

5 今西忠良 ①市長の政治姿勢 (市政運営への所信、働き方改革と地方財政) ②脱原発と自然エネルギーへの転換 ③水道行政 (水道事業会計の現況、水道ビジョン、耐震化・布設替・未普及地区の解消対策)

6 植田豊 ①避難所などの災害用井戸の設置について ②特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会の招致について ③アクティブシニアの南国市への移住・定住推進について

7 村田敦子 ①防災行政無線 (スピーカー設置状況・聞こえの検証と改善) ②給食センター (鳩の糞害、鳥インフルエンザ、隣接空き地に繁る雑草、内覧会の日程と広報) ③介護事業について

8 山中良成 ①市長の政治姿勢 ②平成28年度決算 ③暴風雨の中での下校 ④環境行政 (1) 保育園・保育所・幼稚園・小中学校にLED設置 (2) カーボン・マネジメント事業 ⑤道の駅南国の改善

9 浜田和子 ①財政について (財政調整基金と不用額) ②環境行政について (ごみ減量) ③災害時用マンホールトイレについて ④発達障がいについて

10 土居恒夫 ①災害に備えて (災害時給水ステーション・日常備蓄の日) ②情報発信について (シティプロモーション・ホームページ・広報誌・ユニバーサルサービス視点) ③ふるさと納税 ④子ども議会

11 有沢芳郎 ①スポーツ推進基本計画の進捗率は ②スポーツ振興県民会議について ③生涯スポーツの推進について ④障害者スポーツの充実について ⑤ホストタウン推進について

12 野村新作 ①環境行政 (1) 藻川・舟入川クリーン作戦 (2) 清掃作業委託 (作業内容・作業条件) ②観光行政 (まほろばの足湯に大きな案内看板を)

13 神崎隆代 ①災害時特設公衆電話について ②ヘルプカードについて ③認知症カフェについて ④連携中枢都市圏について ⑤SDGs (持続可能な開発目標) に対する認識と理念・目標に沿った市政運営について

14 福田佐和子 ①市長の政治姿勢 (国保・介護・後期高齢者医療保険、保育、戦争遺跡の保存と活用) ②中学生自死への対応と再発防止 (文科省の指導、再発防止策、自尊感情の育成、市民に分かる取り組み)

15 浜田勉 ①魚の体内に微細プラ。人体に影響は ②無戸籍者への司法・行政の対応は ③北朝鮮の核実験強行NO。南国市の非核平和宣言は ④防災の日と虐殺の日、南海地震は ⑤ローカル線は地方再生の要、足です。

土居篤男 議員



高齢者への温かい
施策の充実を求める

問 高齢化社会で求められる健康づくりには水泳が良い効果が得られるが、南国市には市営プールがない。高知市や民営のプール使用への補助制度をつくれ。また、高齢者の一人暮らしの増加に対し、安全状況把握できるシステム構築を求める。

答 プール使用料に対する補助制度については、高齢者のニーズの把握や、市として健康づくりに対してどのような支援ができるかなどの検討が必要ですので、今後関係各課とも協議したいと考えます。見守りが必要と思われる高齢者については、

地域包括支援センターや在宅介護支援センターによる訪問などの見守りを行っています。また、在宅高齢者の福祉サービスとして、緊急時に受信センターにつながり、係員が状況を確認する緊急通報システムサービスや、食

の自立支援事業では安否確認を兼ねた配食サービスを行っています。また、高知県における地域の見守り活動に関する協定が締結され、日常業務の中などで協力していただいています。今後は地域で安心して生活を送ることができるよう、地域の実情に応じた高齢者の見守りができる体制づくりの検討が必要と考えています。

農舎用地の課税は
農地で行え

問 昭和45年以前からの農舎用地（既存宅地）は農地としての評

価に造成費をプラスした額で課税せよ。固定資産評価基準では農地として扱うよう決まっている。県の都市計画課は家屋の建築許可は事前には不明。宅地評価を行う根拠は何か。

答 既存宅地の判断としては、昭和45年10月31日登記地目は宅地であること、同日に家屋があることが固定資産税課税台帳で確認できること、昭和44年の航空写真で家屋のあることが確認できること、これらのうち1点でも該当すれば線引き前からの宅地であるとしています。また、農業施設の用に供する宅地で評価していた土地についても、既存宅地に該当すれば農業施設が建設されているとはいえず、土地の価値としては一般の宅地と同様であるとして課税しています。

前田学浩 議員



複合型文化施設の
前に市民要望検証

問 多くの要望のある市道改修が積み残されているが、一旦要望者に「現状説明」を求める。市の防災面も十分ではない。長期浸水が予想される稲生地区には第二避難所がなく、一次避難所も屋根のない場所が多い。不安を持つ市民要望対応が優先されるべきである。

答 圃場整備と他事業に係る路線については見直しており、お待たせしている箇所も含めて、要望をいただいている地区の地区長、土木委員長と話し合いの場を設け、他事業との関係や、順位などについて協議を今後してい

きます。

稲生地区の南海トラフ地震発生時の緊急避難場所としては、後背地の山に避難場所及び避難経路を整備しました。予算化には至っていませんが、雨露をしのぐテント等は購入し、避難場所に置くようにしたいと思っています。また、その他の避難場所の環境整備については、地域の自主防と協議をしていきたいと思っています。

複合型文化施設の
前に重要政策検証

問 南国市の重要政策（総合計画・地方創生総合戦略・人口減対策）とどう合致するのか？未実施の「公共施設マネジメント基本計画」をまず立てて、市民に公表すべきである。地域の絆の再構築には、まず、貧困の連鎖を断つ姿勢が重要でその福祉機能はあるのか？

答 第4次総合計画では地域のコミュニティの部分で、公共施設として公民館を中心に位置づけています。その中で全体的な文化機能も含めた公共施設ということです。福祉機能を持たせるというイメージが、高齢者の集えるスペースの確保ということであったと思います。ホールを含む部分と高齢者が集える部分、両方を兼ね備えた施設にしたということとで、公民館の合築に伴う活用の上で、高齢者も集える施設にしたいと前市長が言っていたと思っています。

高木正平 議員



南国市のおみやげ

問 土佐の駄菓子とは郷土の懐かしいお菓子であり、素朴でいて長い歴史に愛着があるが、南国市のおみやげとして、関係機関との協力などを得、新たな開発などの可能性を問う。

「元親飛翔の像」との対面の感動を味わえる南国市のおみやげづくりの挑戦を問う。

答 誰が主体となつて、どのような商品にし、どうやって流通につなげるかということ、またそういう作業を行う中では開発者や地域の方の商品に対する思いが大切であると考えています。これまでもお菓子を含めて、さまざまな商品に関して、新

商品の開発、既存商品のブラッシュアップに対する支援を行つており、成果を上げている商品もあります。今後とも引き続き、商品開発に対する支援はしたいと考えています。

長宗我部元親には、多くの方が思いを持たれていると思いますので、地域の特産品となる可能性はあると思っています。

津波対策

問 前浜の伊都多避難タワー南側の耐震性貯水槽で初めての給水訓練が行われたが、災害時に自らが給水を行う住民への、訓練を通じての留意事項や今後の対応策などを問う。

個人所有の井戸を災害時に活用するための把握や「協力井戸」制度などを問う。

答 貯水槽のマンホールは非常に重いので開閉方法など器具の取り

扱いに注意が必要で、給水活動を行うまで一連の流れが、市民の方がすぐに理解できるマニュアルを整備する必要があります。貯水槽の操作方法や接続訓練等について、災害時に円滑かつ迅速に給水活動が行えるように今後給水訓練を実施していきたいと考えています。

個人の井戸の利用については、一定有効なものとは思いますが、実際には地域での共助という形で活用することになると思いますので、井戸の把握等については、自主防災会として把握しておいたほうがよいと思います。



西川 潔 議員



山林に農地課税

問 土地の評価・課税は、正常で均衡がとれているのか。特に北部の中山間地域の土地に平野部と均衡がとれない農地評価額と実売買

価格と大きな差がある宅地評価がある。山林と化した農地に4倍近い高額な課税実態がある。四方竹畑も水田課税は誤り。早期是正を。

答 適正な時価において公平、適正な課税ができるよう固定資産評価基準の定めにより、不動産鑑定士に鑑定評価を依頼し、評価の均衡を保つため十分な助言をいただいています。

現況課税とは、現地の利用状況だけではなく、その土地に係る法的な規制や許可、申請といった目に見えない現況も含んでいるということです。課税が現況と合っていないところは、税務課の資産税係員の見回り、各課との連携情報、航空写真の有効な利用などによって、現況地目の確認に努めています。

市街化調整区域の開発許可の緩和

問 来年4月からの調整区域の新たな許可制度に市民は大きな期待を寄せている。市の発展、地域の創生のためには、重要な施策である。5月に公表した、市街化調整区域の開発規制緩和(案)は、着実に実行されるのか。

答 案を5月に公表して、より詳細な用途、範囲、要件を公表したところ、国の指針や高知広域の観点からの考え方について国、県との隔たりがあり、現在

も県と協議、調整を行っているところ。市街化調整区域の立地基準については、これまで大きく変わる内容になっていないと考えていますので、今後本市の独自の施策に合ったまちづくりの実現に向けて開発審査会の実績を積みつつ、立地基準の条例化など立地基準の検討を積極的に行うと考えています。



今西忠良 議員



市政運営への所信
副市長の2人体制

問 無投票当選で8月に平山新市長が誕生した。前市長からの継続事業が山積する中、企業立地、地場産業の振興、人口減への対策など重要施策が目白押しである。就任にあたり市政に臨む所信と抱負、そして副市長の2人体制の維持を問う。

答 市政運営は引き続きスピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。人口減少への対策、若者の定住を目指して、雇用、定住、子育て支援、農業の振興、南海トラフ地震対策等災害対策、まちづくりの大きな5つの柱を軸にして、具

体的な事業を進めます。空席の副市長ポスト

については、人選、体制も含め検討を進めていますが、私の就任から間もないこともあり、全体業務の中で必要分野を見きわめた上で決定したいと考えています。時期については、少なくとも今年度中には決定したいと考えています。

地震対策など水道事業の課題と展望

問 市の総人口は減少傾向にあり、給水人口の大幅な増加や給水収益の伸びは今後あまり期待できない中、管路の耐震化、敷設替え、未普及地区解消など、施設の強化、改良新設へ経費投入が予測される。今後の上水道事業の課題と展望を問う。

答 本市の総人口は減少傾向で、給水人口は大幅な増加は見込めず、給水収益の伸びは余り

期待できない状況から、今後ともさらなる効率化経営と、水道料金未収納対策などに努めるとともに、一層の経費削減を図り、健全運営に努めていきます。

地震対策については、耐震性の低い石綿セメント管の耐震管への敷設がえにより、現在約4.3キロメートルで、今後も、積極的に耐震管への敷設替えを進めていきます。

未普及地区の解消については、現在岩村地区、岡豊町中島地区において工事を進めています。実施に当たっては、必要性や水需要量などを十分検討して進めていきます。



植田 豊 議員



災害用井戸の避難所設置が必要だ

問 高知県は、市町村の災害用井戸の設置に對し補助制度を設けるなど、災害時の生活用水確保に向けた準備が進んでいる。南国市における進捗状況及び予定について伺う。

答 災害用の井戸の設置場所及び設置数は、稲生小学校、三和小学校、大篠小学校、鷹ヶ池中学校、スポーツセンター、大篠公民館、東工業高等学校の7カ所にそれぞれ1基ずつ、合計7基設置されています。

災害時協力井戸制度の取り組みについては、飲料水以外のトイレや洗濯、清掃用などの生

活用水として個人の井戸を利用することについて、避難所からの距離や水量、水質、濁り等の問題もありますが、一定有効であると思います。実際は、地域での共助という形で活用することになると思いますので、自主防災会

として把握しておくほうがよいと思います。



アクティブシニアの移住対策必要

問 還暦を節目に、UIターン組の移住定住を促し、人生をさらに頑張ろうと再挑戦を考えておられる方の応援をする還暦式の実施を求める。また、実施に合わせ、企業のリクルートやPR、南国市

行政の紹介等を行ってはどうか。実施の可能性を問う。

答 他県の例で、成人式、還暦式を同じ会場で2部構成にしてそれぞれ交流イベントや、互いの世代に対するプレゼントなどの催しがされていきました。

南国市でも開催をとの提案ですが、年金支給開始年齢の65歳引き上げにより、定年延長や再雇用の制度が徐々に確立されています。60歳はまだまだ現役世代と言ってもよく、還暦祝いの行事をなさる方も徐々に少なくなっているのではと感じられ、ただだけ来てもらえるか不安もあります。広く市民から意見を頂戴したいと考えています。

村田敦子 議員



聞き取りづらい
聞こえないの解消を

問 緊急情報は携帯やテレビ、ラジオなどでも得られるが、それらの機器を持つか近くになければ受信できない。7億もかかった防災行政無線の子局は市内全域にある。きめ細かな検証と調整を重ね、音の重なりや空白地帯を無くし緊急時に備えよ。

答 防災行政無線の聞こえについては、天候や風向きなど気象条件にも左右されます。一斉の放送や時間差での分割放送をしており、改善するならば、分割放送の場合、グループ分けの見直しなどしなければならぬと思います。それ以外でもピ

ンポイントではなく空白地域が出てくるようであれば、スピーカーの設置という形での改善が必要になってくると思います。

新総合事業で
介護難民をつくるな

問 第2包括支援センターを北部に作るために広報で募集したが、応募がない。ヘルパーさん達に聞くと事業所が軽度者のサービス提供は断るといふ。ライフサポーター登録者の活動拠点もない。現行のサービス提供を続けるしかないのでは。

答 本年度に2カ所目の包括支援センターの設置を予定し、プロポーザル方式により公募を行った結果、応募がありませんでした。団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて高齢者の増加が見込まれ、南国市では平成33年以降、後期

高齢者の増加は続く見込みです。それに向けて、地域包括支援センターの体制の強化は必要と考えていますので、今後どのような方法で体制を強化していくか検討していきたいと考えています。

現在のところは、社会福祉協議会のその受け皿の事業所の指定ができたなら、そちらでヘルパーの方に軽度な作業をしていただくということも考えています。今の段階では現在の状況が継続することになります。



山中良成 議員



道の駅南国人事再編

問 道の駅南国は人事再編が重要となる。現在、駅長が副市長で公務と兼任している。兼任の負担を削減し、民間企業の若い視点または女性の視点も大切なことから、駅長を外部より雇うことについて聞く。また、人事評価制度の進捗状況も問う。

答 外部からの駅長という提案は、道の駅機能の強化、また運営体制に新しい風を入れることにつながるので、有効な方法ではないかと思えます。また、経営コンサルタントの活用など、活性化を図るのも選択肢の一つだと思います。今後の取締役会で協議を重ね、外

部からの雇用、そして若い視点、女性の視点等の要素を判断材料にして、よりよい会社運営を図りたいと思います。

人事評価制度の導入については検討しており、職員のモチベーションを上げるために、大きな効果が期待される人事評価制度を経営改善の一環として検討しています。

保育・学校のLED
整備

問 LEDは震災時に落下しても割れにくく、子供の安全な避難に有効である。蛍光灯・白熱灯は3年後には製造・輸入が禁止になる。昨年6月議会で防災の観点から保育所・園、幼稚園、小中学校にLEDの必要性を提案しているが、進捗状況と今後の計画を問う。

答 民間保育園2園で設置工事が完了し、ま

た部分的に進めている1園も今年度完了予定です。そのほか、今年度、たちばな幼稚園、あけぼの保育所が設置する予定となっております。他の公立保育所も関係機関との協議を進めていきます。

小中学校は、体育館のLED化を進めており、小学校13校中8校、中学校全4校がLED照明となっています。

教室等では小中17校中8校の約50教室を完了しています。本年度は大湊小学校の校舎及び体育館並びに香長中学校の北舎の全教室を交換予定で、今後とも省エネ設備導入に有利な補助事業を模索するとともに、大規模改修の必要な学校もありますので、これらの事業にあわせ、財源など見きわめながら進めていきます。

浜田和子 議員



清掃組合への負担金削減のために

問 可燃ごみ一人当たり排出量は、香美市約16キロに対し南国市約23キロ。ごみを減量化する家庭用生ごみ処理機は、電動型よりバケツ型が安価で、一万円程度で購入できる。市民負担が軽い処理機の購入について補助事業実施の予算措置を求む。

答 可燃ごみの減量には、まず食べ残し等を減らす、買物には必要量を十分にとって買う、簡易包装の商品を買うといった取り組みがあります。また、可燃ごみには分別すれば資源となるプラスチック容器包装や紙類が含まれおり、これらの分別の

徹底があります。このような方法の啓発を進めたいと思います。

補助金については、市民の自発的取り組みを促すということ、また、ごみ減量の意識を喚起するという効果が大きいと考えます。条件設定額の見直しを行って、補助率は2分の1のまま行いたいと思います。

生ごみ処理機補助制度

- ◇電気式 … 上限18,000円
- ◇好気性 … 上限 1,800円
(コンポスター式)
- ◇嫌気式 … 上限 800円

※詳細は環境課(☎880-6557)へ

懸命な予算措置を

問 財政調整基金の積立は、標準財政規模の20%が望ましいとされる。現在、決算時の不利益が多すぎ、財調への積立を多くしているが、地方交付税の削減

が心配だ。市民サービスへの予算を増額し、道路補修費やゴミ袋代の値下げなどに活用すべきでは。所見を問う。

答 不利益については、事業費の大きい生活保護扶助費などの事業で、例年多くなっています。不利益となった事業費にも予算上は国費、県費等が財源措置され、不利益イコール一般財源とはなりません。予算要求の精度を高めることにより、他の市民サービスへの予算化も確かに可能となるので、予算、補正予算等の見きわめもしていきたいと思っています。

財政調整基金は、20%を目安に20億円から25億円の間で運用する中で、市民サービスを行っていききたいと思っています。今後、施設整備に伴う将来負担に備えての特定目的基金の造成も行っていきたいと考えています。

土居恒夫 議員



ふるさと納税(寄附金)について

問 ふるさと寄附金の使い道は10項目にわたりホームページに記載されているが、内容がお役所言葉の羅列で寄付希望者に伝わらないのでは。地域づくり・教育の充実・健康福祉・南国市の応援などに絞って寄附を呼びかけることを提案する。

答 ふるさと寄附金の使途の区分は、より寄附者へのアピールとなるような事業区分の見直しや事業を絞ることによって、もっと多くの方から賛同をいただけるのではないかと考えています。

このためには、ふるさと寄附条例の改正や、

運用面でも事業開始までの間、基金に積み立てておくなどの方法も必要となってきます。

ふるさと寄附条例は議員の皆様からの提案で生まれたものであり、その改正についても、議員の皆様の見解を伺いながら進めるべきと考えています。改正案を作成しましたら確認いただいた上で進めたいと思います。時期的には本年中に改正案を示し、実質的には来年度から改正できればと考えています。

子ども議会(小・中学生)の開催を

問 選挙権が18歳以上になり、昨年の参議院選挙から実施されたが、子どもの頃より政治に関心を持つことが大事である。普段から自分の住む街の姿を見つめ、快適に住みよい街づくりのために自分の夢や希望を論議する子ども

議会の開催を求める。

答 子ども議会については、選挙年齢の引き下げや、政治に関心な若者の増加、投票率の低下等、政治の将来への不安は否めない状況もあり、子供たちに政治に関心を持つてもらい、我が町の将来について考える場を持つことはとても大切であると考えています。

事件、事故、不安な事象があれば、小さいうちからの教育によって解決すべきだと、多くの方々や関係諸団体から、多様で多角的なアプローチを受けています。学校も要望を受け入れようと最大限の努力はしていますが、既に飽和状態にあることも事実です。子ども議会も含めて、年間のスケジュールの中で実施できるかどうか考えていきたいと思います。

有沢芳郎 議員



スポーツ振興県民会
議について

問 県知事は年度を通して既存施策を抜本的に強化し、新たなスポーツ振興施策を考え、健康政策部、地域福祉部、中山間振興・交通部、教育委員会事務局文化スポーツ部を取り入れている。南国市は担当職員が二人しかいないが市長の振興施策を問う。

答 市としては、スポーツの推進に関する重要事項を調査、審議する南国市スポーツ推進会議があり、それに対応する庁内組織として、仮称ですがスポーツ推進対策本部という組織の設置を検討したいと思います。

高知県は平成29年4月に教育委員会(競技スポーツ・生涯スポーツ)・地域福祉部(障害者スポーツ)・観光振興部(スポーツツーリズム)所管のスポーツ施策を、知事部局の文化生活スポーツ部スポーツ課に一元化しています。都道府県レベルの動きに比較して、市町村レベルではまだまだ動きが少なく、オリンピック・パラリンピックを控え、南国市としても何らかの体制強化は行っていきたいと考えています。

障害者スポーツの
充実について

問 障害者スポーツは生涯スポーツの充実として取り組むべき。市スポーツセンターはバリアフリー新法の認定を受け、人に優しく、安心して利用できる施設であり、障害者の大会では1439人も参加があつた。今後の市の取り組みを問う。

答 障害者スポーツの取り組みは、現在、障害者の社会参加促進事業として、市内外を問わず参加者を募り、南国市スポーツセンターで、障害者卓球大会であるおながどりカップの開催や、春野総合運動公園などで行われる県主催の障害者スポーツ大会への参加の呼びかけ、参加者の移動手段を確保し、参加しやすい配慮をしています。障害の有無を問わず、適性に応じてスポーツに参加できる環境や機会の提供ができるように、県から障害者スポーツ普及促進事業の委託を受け、障害者スポーツにも力をいれているNPO法人まほろばクラブ南国の協力も得て、地域の障害者団体とともに取り組んでいます。けたらと考えています。

野村新作 議員



ごみ収集をより確実
にするために

問 現在、藻川、舟入川の清掃は共に、くわ・タモでのかき揚げ作業が中心のようだが、下に降りられる場所は降りて作業すれば確実に収集できる。来年の委託契約時に、舟入川グループにはせめて週一回の収集作業を作業条件に加えてはどうか。

答 現在、藻川、舟入川ともに、清掃委託によって、定期的なごみ収集を行っています。残念ながら不法投棄は後を絶ちません。舟入川については、現在、月2回程度の作業ですが、それを週1回にするための委託内容とあわせて、今後検討します。

藻川・舟入川クリーン
作戦

問 藻川・舟入川へのごみの不法投棄は目に余るものがある。下流(高知市)に迷惑もかかっており、5300余名の流域住民の要望書も提出されている。藻川支流への柵を設置するなど、可能な限りごみ収集に努めるべきではないか。

答 本市の市街地を流れる藻川、舟入川については、舟入川下流域の高知市住民とともに5300余名の要望書が提出された経過もあり、投げ捨てごみ、浮遊ごみの回収は大きな課題です。柵を設置することについては、建設課と協議を行って設置の検討を行っていきます。また、藻川は小籠で舟入川と合流しており、流域住民の協力をお願いして一斉清掃日を設けることは、さらなる清流保全につながる取り組みですので、今後実現に向けて検討を始めていきたいと思います。



不法投棄の対策を

神崎隆代 議員



災害時特設公衆電話

問 回線が災害時優先電話に種別される特設公衆電話は、発災後も

通信規制を受けずつながりやすい。避難者が家族の安否確認をするために、全避難所への設置が必要だと思いませんか。また、避難所対応マニュアルへの記述と使用マナー等の事前の取り決めに聞か

答 指定避難所15カ所に特設公衆電話を設置しています。他の指定避難所においても必要なものなので、事前設置について申請を行うようにします。

避難所運営マニュアルには、記載されていませんのでマニュアルに記載するよう協議し

ていきます。また、災害時における電話のマナーなどについては、東日本大震災では特設公衆電話でトラブルになったケースも聞いていますので、利用方法についての注意についても周知の必要があると思います。

SDGsの理念目標に沿う市政運営

問 2030年までに「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現を目指して国連サミットで採決された国際目標がSDGs。この考え方がさらに広く浸透することを期待する。SDGsの理念に沿った施策及び市長の所見を聞く。

答 2030年までに貧困に終止符を打ち、持続可能な未来を追求しようというのが目標の大前提ですので、特に次世代を担う子供たちにとっていじめや貧

困のない社会にしていることは行政として当然の務めであり、今後市政を進める上でもSDGsの理念を意識して取り組んでいきたいと思っています。

受動喫煙という健康被害の問題について、本庁舎は5階に屋内喫煙室を設けて分煙を行っていますが、役所内は少なくとも禁煙にしないといけないのではないかと思っています。学校施設の中では敷地内禁煙になっており、市役所庁舎も来年度からは禁煙にしたいと思っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGs(エス・ディ・ジーズ/持続可能な開発目標) 持続可能な開発のための、貧困や飢餓、教育、福祉、人権、環境、経済産業など17の分野別目標。

福田佐和子 議員



文科省が「指導」

問 中学生の自死から2年。遺族が再調査の指導を文科省へ要請。名前や写真を公表し

「我が子に何があったのか。二度と繰り返さない」との覚悟の行動だった。文科省は「遺族に寄り添うよう」市教委を指導したが、遺族からの申し出をすべて却下したのはなぜ。

答 文部科学省から県教育委員会を通じて、遺族と直接顔を合わせて話し合いの場を持つことも必要という指導、助言をいただき、改めて連絡をとり、日程について調整いたしました。その後弁護士から4つの項目の要望がありました。文科省、県

教委の指導は、両親と向き合っという指導でしたが、それについて、要望として両親、弁護士、親族、支援者、マスコミ、県教委、南国市市長部局の参加を望むものでした。両親との話し合いに、ほかの方が入ってきておりますので、それについて弁護士に相談していただきさせていただきます。

重すぎる市民負担

問 安倍政権の社会保障改悪は、市民の負担増と共に将来不安を増大させ、消費の冷え込み、景気悪化の悪循環。社会保障を充実させ、不安解消、消費拡大、景気回復、税収増への切り替えを。国保、介護、後期高齢者医療の重い市民負担について新市長の考えを聞く。

答 国保税については、年間80万円を超える負担をいただいている世

帯もあり、低所得者については軽減策はあるものの、かなりの負担をかけていることは承知しています。しかしながら、国保制度は相互扶助を基本とした制度で、これまでどおり国保の運営については、南国市国民健康保険運営協議会の審議をお願いしながら、医療費の適正化と合わせ健全な国保運営に努めていきたいと思っています。



浜田 勉 議員



防災の日と虐殺の
事実・南海地震は

問 防災の日の設定の根拠は、日本が植民地にした国々を差別し、でっち上げ虐殺した日。都知事は追悼文を否定。歴史的事実を隠蔽するもの、国際主義から許されない。南海地震を教訓にすべきである。被害の実態はどうであったか。

答 防災の日は昭和35年の内閣の閣議了解により制定され、大正12年9月1日に関東大震災が発生したこと、また、台風シーズンの時期ということ、災害への備えを怠らないようにとの戒めも込められていました。昭和57年には、災害の未然防

止と被害の軽減に資するため、防災の日を9月1日とし、8月30日から9月5日までを防災週間としました。

昭和南海地震での南国市の被害は、死者16名、負傷者46名。倒壊家屋97戸、半壊家屋は417戸。罹災者は1599名で、十市、三和地区で約2尺沈下しています。海岸線は丘陵をなしているので、浜堤により津波の浸水は遮られ、人的被害は報告されていません。

ローカル鉄道は再生の要、足です

問 地方と都市の格差は、低賃金で人口減が広がっている。原因を質さず新幹線で復興するという。さらに借金は増え先送りか。今のなはり線の収益と特徴は、今も第3セクター運営ではないのか。支援内容はどうなっているのか。見通しは。

答 県及び周辺11市町村で組織するごめん・なはり線活性化協議会により、利用促進事業を実施するとともに、鉄道経営助成基金を造成して経常損失へ補填を行っています。そのほか、安全性の確保対策について、国、県、沿線市町村ともに補助金を交付しています。経営の見通しは、今後、高規格道路等の延伸により、ごめん・なはり線利用者がマイカー通勤者に転換することが懸念され、ローカル線の経営は厳しい状況が続くことが予想されます。ごめん・なはり線は、県東部の生活の足として欠かせない交通手段ですので、今後の支援は、利用推移、経営の状況を見守りながら、ごめん・なはり線活性化協議会で協議を進めていきたいと考えています。

議会運営委員会行政視察レポート

三重県四日市市・大阪府四条畷市

南国市は現在、議会改革への取り組みを進めつつあります。これまでにタブレットの使用によるペーパーレス化を導入。本年9月議会からは、「一問一答」の実施を行い、次には「議会議中継」を行うべく推進中です。

今後更に議会改革を推進していくにあたり、議会運営委員会として先進他市の状況を学ぶための行政視察を行いました。

7月12日に三重県四日市市、7月13日に大阪府四条畷市と、2市を訪問し研修を行いました。内容は「通年議会・一問一答・議会報告会」の3点についてです。通年議会がどのように行われているのか、議会報告会では市民の皆様とどの様に進められているのか、又、これらを実施した上でのメリットや課題について詳しい説明をして頂きました。南国市にとってはどういう方向性が良いのかを、今後議員全体の議論へと進めていき、より良き議会運営が図られていくように進めてまいりたいと考えています。



9月議会 トピックス

◆新市長初議会

8月6日に就任した平山市長は、9月議会が初めての定例議会となりました。開会日の施政方針、一般質問の答弁で市長は、①働く場所の確保②住む場所の確保③子育て支援④南海トラフ地震対策等災害対策⑤財政の健全



◆一問一答

度を保ちつつ、喜び、豊かさの感じられる市民生活の実現、5点を基本として「緑とまち笑顔あふれる南国市」の将来像に向けた取り組みを着実に実行していきたいと所信表明を行いました。

議会運営委員会で協議されていた定例議会での一般質問の方式について、今までの総括方式(質問・答弁3回まで)に加え、9月定例議会から一問一答方式を選択制で取り入れました。



新たに設置された質問席と市旗・国旗

◆市旗・国旗掲揚

6月議会で「議場における国旗及び市旗の

間・答弁回数に制限を設けず、議員からの個別の質問に対し、その都度執行部が答弁するもので、9月議会では15名中11名が一問一答方式により質問を行いました。

◆陳情

掲揚に関する決議」が議決され、9月議会より議場に市旗と国旗が掲揚されました。

9月議会において「市長の付属機関としての新たな第三者委員会の設置等について」の陳情が提出され、教育民生常任委員会の審査には、報道機関を含む約20名が傍聴に訪れました。常任委員会の審査結果は、採択2、不採択4で不採択とすべきものとなり、議場での採決でも採択への賛成者少数で不採択となりました。



国営ほ場整備事業の実施推進

9月議会で平山市長は、次世代の農業経営のために、ほ場の集積化を図り、農業の効率化を図ることは必須の事業であるとし、国営ほ場整備事業を最後のチャンスと受け止め、引き続き推進すると所信表明しました。

南国市では、高齢化や後継者不足で農業就業者数が減少しており、休耕地や耕作放棄地が増えています。将来の地域農業と農地を守るには、ほ場の整形や道水路を整備して地域一体で営農・維持管理しやすい農地にしておくことが重要です。

現在進めている国営ほ場整備事業は、県営事業より農家の負担が小さく、広範囲を短期間で整備できるものです。事業参加への仮同意徴集が間もなく行われる予定で、各地権者の事業への理解・協力が求められています。



議 会 日 誌

7 月	10日・市政連絡会
	11日・市議会だより編集委員会
	12～13日・議会運営委員会行政視察 (三重県四日市市・大阪府四条畷市)
8 月	3日・南海地震対策特別委員会
	8日・議員総会
	9日・市政連絡会
	24日・高知県市議会議長会臨時総会 (須崎市)
9 月	4日・市政連絡会
	7日・議会運営委員会
	8～22日・第397回市議会定例会
	8日・市議会だより編集委員会
	22日・市議会だより編集委員会

行政視察受入状況

【H29.7月～9月】



自治体名・人数（会派名等／視察内容）

- 7月5日 福島県白河市・7名
(政研白河・かがやき白河／消防・防災)
- 18日 茨城県土浦市・9名
(総務市民委員会／消防・防災)
- 19日 山形県南陽市・3名
(倫政会／立地適正化計画)
- 27日 秋田県大館市・7名
(教育産業常任委員会／食育)

H28年度 政務活動費の報告（年間交付金額12万円で、超過分は自己負担）※交付申請した議員のみ

議員名	神崎 隆代	植田 豊	浜田 憲雄	山中 良成	岩松 永治	西川 潔	土居 恒夫	高木 正平	有沢 芳郎	中山 研心
支出額	101,525	118,230	164,830	160,066	134,730	0	110,430	120,000	105,080	110,463
返還額	18,475	1,770	0	0	0	120,000	9,570	0	14,920	9,537
主な支出項目	研修費	研修費	調査研究費・研修費	調査研究費・研修費	調査研究費・研修費		研修費	研修費	調査研究費	調査研究費・研修費

議員名	前田 学浩	岡崎 純男	野村 新作	浜田 和子	浜田 勉	土居 篤男	福田 佐和子	西岡 照夫	今西 忠良
支出額	149,160	104,932	98,653	103,710	40,640	40,640	0	10,600	172,767
返還額	0	15,068	21,347	16,290	79,360	79,360	120,000	109,400	0
主な支出項目	調査研究費・研修費	調査研究費	調査研究費	研修費	調査研究費	調査研究費		資料購入費	広報費

議 決 結 果 一 覧 (9 月 定 例 会)

■ 9 月 定 例 会 (9/8~22)

◆ 議 案

《28 年度決算》…………… 継 続 審 査

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 号・一般会計歳入歳出決算 | 2 号・下水道事業特別会計歳入歳出決算 |
| 3 号・住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算 | 4 号・土地取得事業特別会計歳入歳出決算 |
| 5 号・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算 | 6 号・国民健康保険特別会計歳入歳出決算 |
| 7 号・介護保険特別会計歳入歳出決算 | 8 号・企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算 |
| 9 号・後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算 | 10 号・水道事業会計決算の認定について |

《29 年度補正予算》…………… 全会一致で可決

- | | | |
|------------------------|-----------------------|---------------------|
| 11 号・一般会計補正予算 | 12 号・農業集落排水事業特別会計補正予算 | 13 号・国民健康保険特別会計補正予算 |
| 14 号・介護保険特別会計補正予算 | 15 号・企業団地造成事業特別会計補正予算 | |
| 16 号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算 | 17 号・水道事業会計補正予算 | 18 号・下水道事業会計補正予算 |

《その他》

- 19 号・南国市学校給食センター設置条例…………… 全会一致で可決
- 20 号・南国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の
一部を改正する条例…………… 全会一致で可決
- 21 号・南国市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例…………… 全会一致で可決
- 22 号・市道南国 117 号線、王子大道線及び日章工業団地線の事業用地の取得面積の変更について…………… 全会一致で可決
- 23 号・南国市固定資産評価員の選任の同意について…………… 全会一致で可決

◆ 報 告…………… 報 告

- 1 号・平成 29 年度南国市一般会計補正予算の専決処分の承認について
- 2 号・平成 28 年度健全化判断比率の報告について
- 3 号・平成 28 年度資金不足比率の報告について
- 4 号・損害賠償の専決処分の報告について

◆ 陳 情

- 2 号・市長の付属機関としての新たな第三者委員会の設置等について…………… 賛成少数で不採択

◆ 議員提出議案

- 1 号・「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定に関する意見書(浜田勉議員ほか 19 名)…………… 全会一致で可決
- 2 号・食品衛生管理の国際標準化を求める意見書(浜田和子議員ほか 19 名)…………… 全会一致で可決
- 3 号・「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に規定する
特例の継続等を求める意見書(前田学浩議員ほか 19 名)…………… 全会一致で可決
- 4 号・森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と
森林の適切な管理の推進を求める意見書(神崎隆代議員ほか 15 名)…………… 賛成多数で可決
- 5 号・小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書(神崎隆代議員ほか 15 名)…………… 賛成多数で可決

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名 議案番号	神崎 隆代	植田 豊	浜田 憲雄	山中 良成	岩松 永治	西川 潔	土居 恒夫	高木 正平	有沢 芳郎	中山 研心	前田 学浩	村田 敦子	岡崎 純男	小笠 原治幸	野村 新作	浜田 和子	浜田 勉	土居 篤男	福田 佐和子	西岡 照夫	今西 忠良	結果
陳情第 2 号	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	—	○	不採択
議発第 4 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	—	○	可 決
議発第 5 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	—	○	可 決



「なんこくファミリーサポートセンター」

10月3日、なんこくファミリーサポートセンター事業が開始となり、南国市立西部児童館において看板設置のセレモニーが行われました。

この事業は、南国市が公益財団法人高知勤労者福祉サービスセンターに運営を委託するもので、ファミリーサポートセンターとは、仕事や家庭の都合などで子育ての手助けが必要な方（依頼会員）と、子育てのお手伝いができる方（援助会員）が会員登録し、子育ての助け合いをする有償ボランティア組織です。

入会申込は予約制ですので、ご希望の方は一度同センターへお問い合わせください。

電話（802-5665）

*日・月曜、祝日、年末年始は休み

なんこく歳時季

巻

4

編集後記

今年の夏は、全国各地で豪雨や洪水、台風などの被害が多く発生しました。被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

こうした夏が終わり、南国市の田んぼでは2回目の稲が実っています。給食センターも完成し、新しく始まる中学校給食でも、おいしい地元米が子どもたちに笑顔と元気を与えてくれますようにと願うところです。

さて、この2年間「読みやすい議会だより」をお届けすべく、委員長を始め編集委員会全員で紙面構成などに取り組んできました。毎号お読みくださりありがとうございます。また、「読んでるよ」の声がさらに増えるように次号からは新しい委員でお届けしていきます。

(福田)

◎市議会だより編集委員会

委員長 土居 恒夫
副委員長 福田 佐和子
委員 神崎 隆代
植田 田
濱田 忠
今西 良

◆「市議会だより」についてのご意見・ご要望がありましたらお寄せください。

「マチイロ」で議会だよりを配信しています

スマートフォンなどで使える自治体広報アプリ「マチイロ」で南国市議会だよりの配信を開始しました。全国450を超える自治体の広報等をいつでもどこでも無料でご覧になれます。

●アプリで読むには

App Store・Google Playから「マチイロ」を検索し、ダウンロード



お住まいの地域など簡単な設定をします。



最新の広報紙が配信されます。

- 9月定例市議会の会議録は、12月上旬以降に市ホームページ (<http://www.city.nankoku.lg.jp>)、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。
- 次回の定例市議会は12月1日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。